

骨髓バンク・さい帯血バンクを
身近なものに

造血幹細胞事業広報誌 バンク バンク

BANK! BANK!

みんなでつなぐいのちのバトン

VOL.
14
2019

TOPICS
母娘の絆ストーリー

～さい帯血移植で白血病を乗り越えて～

あなたの想いが、患者さんのいのちを救うまで

BANK!BANK! 広報スタッフから、読者の皆さんへメッセージ

つながるメッセージ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

あなたの想いが、患者さんのいのちを救うまで

提供された骨髓・末梢血幹細胞・さい帯血は、移植治療において患者さんをどのように助けるのでしょうか？

一般的な移植治療の流れ

1 診断

白血病や再生不良性貧血などの血液の病気

2 入院

3 治療方針選択

移植が必要な場合は…

骨髓バンク患者登録(骨髓移植・末梢血幹細胞移植の場合)

・骨髓バンクにドナー登録している人の中から

患者さんに適合するドナーを候補として選びます。

さい帯血の申し込み(さい帯血移植の場合)

・出産後に提供し、さい帯血バンクに保管されているさい
帯血の中から、患者さんに適合するさい帯血を選びます。

それぞれの患者さ
んの症状や状態に
合わせて、医療ス
タッフや家族とも相
談しながら、今後の
治療方針を選択し
ていきます。

4 移植準備

抗がん剤投与、放射線治療(移植の約1週間前)

・体内のがん細胞を壊し、ドナーの細胞を受け入れる
準備をします。このとき血液を造る細胞も一緒に壊
してしまうため、たくさんの輸血が必要になります。

各治療段階で、
様々な副作用が起
きる場合があります
が、医療スタッフが
適切に対処してい
きます。

5 移植

骨髓・末梢血幹細胞・さい帯血の移植

(移植準備終了から1~2日後)

・病室でドナーの細胞を体内に入れます。

(骨髓・末梢血幹細胞移植は点滴、さい帯血移植は注射)

6 生着

血液を造る力が回復(移植後、約2週間~1か月)

・移植した細胞が働いて、体内で新しい血液を造り
はじめます。

7 退院

外来通院治療(生着から2~3か月後)

・患者さんによっては、数年にわたって続く症状(皮膚症状、口内炎、味覚
低下、呼吸困難など)もあるため、医療スタッフがサポートを続けます。

TOPICS

母娘の絆ストーリー～さい帯血移植で白血病を乗り越えて～

若い世代のがんでもっとも多いのが「白血病」(血液のがん)。この病との闘いはご本人だけでなく、その周りの方々にとっても長く厳しい闘いです。さい帯血移植[※]を受けて白血病を克服した方とそのご家族に、力を合わせて乗り越えた闘病経験についてお聞きしました。

※お母さんと赤ちゃんをつなぐ「へその緒(さい帯)」と胎盤から血液を送る細胞を採取し、患者さんに注射する治療法です。



ご家族(母)
左)紀子さん

母として江梨子さんを支えながら、フルタイム勤務と家事、通院看病の日々を乗り越えた。

(さい帯血移植経験者(娘))

右)江梨子さん

21歳で急性骨髄性白血病を発症。
23歳でさい帯血移植を受け、社会復帰。



白血病を乗り越えた母娘の Before & After

娘(江梨子さん)の Before & After

Before → 新卒で入社した会社で、事務の仕事を頑張っていた

After 仕事編 → 病気を経験し、医療に携りたい気持ちが芽生え、医療事務や歯科助手の仕事に従事。がん患者さんを励ます活動もしていかたいと思っています。

After からだ編 → 移植をしたことでアレルギー体質に。当初は卵アレルギーに苦労しましたが、徐々に改善されて今では卵を使った料理も食べられるようになりました。

ご家族の Before & After

Before → フルタイムの仕事と家事。何気なく過ごしていた平穏な日々

After 生活編 → 移植後は免疫が低下しているので、感染予防が重要。自宅を常に清潔に保つように、空気清浄機を設置したり、カーテンを新調したりして、家族みんなで感染予防に取り組みました。

After きもち編 → 何気ない1日がいかに幸せかということを痛感しました。家族が誰一人欠けず、穏やかに暮らせることが一番幸せなんだ。



娘(江梨子さん) Hot News

病気になったからこそ出会った主人と結婚しました。



Q1 さい帯血移植を受けるまでの経緯を教えてください。

娘(江梨子さん) 新卒で入社して約半年が経過した頃、体調不良の日が続き、慣れない環境によるストレスによるものかと思っていた。そのうちアゴのリンパ節が異常に腫れたり、心当たりがない大きなアザができたり、階段を上るのがきつくなったり…。鼻血、唇の出血、顔の吹き出物、微熱も続きました。病院で白血病と診断されて即入院。約半年、抗がん剤治療を耐え抜きましたが、骨髄バンクのドナーが決まらなかったため、さい帯血移植しか選択肢がありませんでした。辛い治療でしたが、嘆いても何も変わらないし、周りに迷惑もかけたくないでの、耐えて突き進むしかないとっていました。

Q2 ご家族はどんな気持ちでしたか?

母(紀子さん) やはり恐怖や不安はありました。インターネットで調べて、不安になりました。でも娘が黙々と治療に立ち向かっていたので、娘に寄り添って、常に支えていたいという一心でした。職場の理解もあって、毎日病院に通っていたのですが、今思えば、どうしてあんなに頑張れたのか。自分がしっかりしなければと気を張っていたんですね。

Q3 闘病中、支えになったのは?

娘(江梨子さん) 母が毎日病院に来てくれて、食欲がないときに手料理を持ってきてくれたことや、看護師さんに頼みにくい細かなことを全部やってくれたことは本当に支えになりました。また、移植後には気持ちが不安定な状態が続いていましたが、先生が「我慢しないで白旗をあげていいよ。大丈夫だから」と言ってくださって、その力強いお言葉に涙があふれました。おかげさまで前を向いて進むことができました。

Q4 今後の目標を教えてください。

娘(江梨子さん) 今この瞬間も、闘病している方々がいるという想いは、常に私の中にあります。さい帯血移植でいたいた新しい命と共に、その方たちの希望となることや、自分が今までできなかしたことなど、色々なことに挑戦していきたいと思っています。1日1日を大切にして、前向きに過ごしていきたいと思います。

闘病を通して感じたこと

信頼できる医療スタッフと共に長期戦

白血病の治療では、約半年に及ぶ抗がん剤治療の副作用や、無菌室での孤独とも闘わなければならず、入院生活が長いので、医療スタッフとの信頼関係はとても大事。闘病中、同年代の看護師さんは泣きながら励ましてくれ、主治医の先生とは10年近くのお付き合いになりました。



献血に感謝!

治療中は血液の検査数値を上げるために、かなりの頻度で輸血が必要だったので、「今日は○○県からきたね」と、毎回届く輸血バッグを見ても、献血してくれた人に感謝していました。



献血キャラクター「チッチ」

さい帯血移植があったから 救われた

骨髄移植ができないので、さい帯血移植の選択肢があつて命が救われました。ドナーの方に会うことはできませんが、ご提供いただいたお子さんのことは常に心の中にあり、感謝の気持ちはずつと忘れずにいます。



娘さんからお母さんへの手紙

お母さんがいなければ、今こうして生きていられなかつた。フルタイムで仕事をしながら、どんなときもお見舞いに来てくれて、本当にありがとうございます。食欲がなくて病院食を食べることができない私に、食べ物を持ちてきてくれてありがとうございます。食事制限がある中で私の好みを考慮いつつ、選ぶのは大変だったよな。病気になって何もできない自分に「生きていってくれればいいよ」と優しく励ましてくれてありがとうございます。おかげさまで、いたいた新しい命と共に、今元気で生きています。感謝の気持ちを忘れずに、これからも一緒に生きていこうね。

お母さんから娘さんへの手紙

21歳から23歳といふ若くて楽しい時期に辛い闘病生活。それなのに、闘病中は弱音を吐くことなく、黙々と治療をしていて、耐え抜いたね。失ったこともたくさんあるけれど、これからはやりたいことを好きなことをたくさんしてほしいと思ってます。これからも応援しています。



Dear Mother

Dear Eriko

つなげよう「ありがとう」

骨髓ドナーの登録窓口やさい帯血の提供ができる産科施設はポータルサイトでチェック!

QRコードからアクセスできます。

骨髓バンク・さい帯血バンクポータルサイト

bmdc 検索 www.bmdc.jrc.or.jp/



「パンフレット図書」から
バックナンバーも
閲覧できます



想いを言葉にかえて

ポータルサイトにある「つながるメッセージ」では「BANK!BANK!」を読んで考えたこと、感じたことなど、ご意見を募集しています。

Facebook・Instagram

bank.bank.jrc



つながるメッセージ BANK!BANK! 広報スタッフから、読者の皆さんへメッセージ!



公益財団法人
日本骨髓バンク
広報専門部
廣瀬 舞 さん

Q.普段どのような仕事をされていますか?

一般の方・関係者からの問い合わせへの対応、骨髓バンクの普及啓発資材の作成や発送、公式SNS(Twitter・Facebook)での情報発信、イベントや学会へのブース出展等を行っています。「骨髓バンク」というと「痛い」「怖い」といったネガティブなイメージを抱かれている方も多いようですが、まずは「正しく知ってもらうことを目標に働いています。

Q.お仕事の中で印象に残ったエピソードを教えてください

中学生と保護者の方々を対象とした講演会で、移植経験者のご家族の体験談や、白血病の少女の実話をもとにした絵本朗読を聞く機会がありました。真剣に聞き入り、率直な質問や感想を投げかける生徒さんの姿をとても嬉しく感じるとともに、自分の仕事の先に移植を待っている患者さんがいることを改めて実感して、身が引き締まる思いがしました。

Q.読者へのメッセージをお願いします

白血病をはじめとした血液の病気は決して珍しいものではなく、いつでも誰にでも起こり得る病気です。普段の生活の中で「骨髓バンク」「さい帯血バンク」について知っていただく機会は少ないかと思いますが、この「BANK!BANK!」を読んで感じたことや考えたことを、ご家族やご友人など、身の回りの方へもシェアしていただけたら嬉しいです。

日本赤十字社

患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髓ドナー」をインターネットでいつでも探すことができるよう、「さい帯血」や「骨髓ドナー登録者」の情報の管理や必要な検査を行っています。

骨髓バンクへの関わり

全国の献血会場で骨髓ドナー登録の受付や、パンフレットなどによる普及活動をしています。

さい帯血バンクへの関わり

全国6つの公的さい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための普及活動をしています。

BANK! BANK! とは

2つのバンク【骨髓バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全國から集まったメンバーが制作に参加し、毎号異なるテーマをわかりやすく解説。骨髓・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を造る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けることを目指して活動しています。

次回の
BANK!
BANK!

への緒(さい帯)
で誰かの命を助けられ
ます。6月発行予定の次号は、さい帯血
バンクの「数字」に関してお届けします!